

東京海洋大学（品川キャンパス）土地の有効活用事業における 落札者の決定について

令和4年12月に公募要綱等を公表した「東京海洋大学（品川キャンパス）土地の有効活用事業」の落札者を決定しましたのでお知らせいたします。

1 事業概要

本学は、ビジョン2040において、「地球規模の教育・研究ネットワークを構築し、国内外のステークホルダーとの共創に適した環境を整備し、知と人材の集積拠点を実現する」ことを掲げており、東京海洋大学キャンパスマスタープラン2022においても「人と人の交流を誘発し人材を育成する空間の創生」を目指しています。本事業は、これらを踏まえ、経年による老朽化が進む教育研究施設の整備等のための財源を確保し、教育研究水準の一層の向上を図るため、品川キャンパスの一部について定期借地方式による土地の有効活用事業を実施するものです。

(1) 本事業敷地の概要等

所在地：東京都港区港南四丁目5番7号の一部

事業敷地面積：約4,000㎡

貸付期間：75年（令和5年5月31日から令和80年5月30日まで（予定））

※借地借家法第22条に規定する一般定期借地権を設定

(2) 本事業敷地の位置図

※B区画（赤）が本事業の敷地。



2 審査結果

学内外の委員から構成される「東京海洋大学（品川キャンパス）土地の有効活用事業総合評価審査委員会」において各応募者の競争参加資格審査、ならびに入札金額の適格審査及び提案内容の審査等により総合評価を行い、以下の応募者を優秀提案者として選定し落札者としました。

落札者

東急不動産株式会社

※審査結果の詳細及び審査講評については後日公表予定です。

3 落札者の提案概要

(1)施設の概要（予定）

用途：共同住宅（分譲マンション）

高さ：約45m

階数：地上14階

延床面積：約18,000㎡

住戸数：約220戸

竣工：令和8年12月

※概要については、落札者による今後の企画、行政協議等により、変更となる場合があります。

(2)主な提案のポイント

都市と自然、空と海が交差し、大学、研究施設、学生寮、住宅が一体となる環境を活かし、外観や景観への配慮、世界や次世代へとつながるさまざまな取組を意識したキャンパスにふさわしい住まいづくり。

- ・風の道を意識（上位概念への配慮）
- ・キャンパスとの調和（景観・まちなみの調和）
- ・都市においても自然を感じられる敷地計画
- ・周辺エリアとのコミュニティ形成の場となりうる協定公園の計画
- ・車導線と歩行者導線等の分離及びバリアフリー化 等

4 スケジュール（予定）

令和5年3月31日 定期借地権設定契約書の締結

令和5年7月31日 定期借地権の開始

令和8年7月30日 定期借地権の終了（事業終了）、敷地返還

※建物計画や工事については、条例の定め等に従い、対象の皆様に対して落札者より、別途ご説明させていただきます。

- 本件に関するお問い合わせ
国立大学法人東京海洋大学
財務部キャンパス整備企画課、施設課
住所：東京都港区港南4-5-7
E-mail: scampus@m.kaiyodai.ac.jp

以上